

令和2年度事業報告について

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

2020年1月に国内初の感染者が確認されて以来、新型コロナウイルス感染症は令和2年度に入って感染を広げ世界的規模での拡大という未曾有の事態に見舞われました。そのことにより、我が国は雇用情勢をはじめ社会経済活動に大きな打撃を受け、シルバー人材センター事業にも大きな影響が出ました。

平成21年度をピークに減少傾向にあった全国の会員数は、令和元年度において10年ぶりに増加に転じたものの、令和2年度に入り再び減少傾向となりました。

当センターにおける会員数も同様な減少傾向を辿りましたが、年度末に実施した「会員拡大キャンペーン」が功を奏し、2月・3月の入会者が増大したため令和2年度末会員数は前年度末を16人上回る684人となりました。

一方で、期間就業実人員は606人、期間就業率は88.6%、月平均就業率は70.4%といずれの数値も前年度比較で減少となっています。これは年度末の会員拡大キャンペーンにて入会した多くの会員が未就業であることが期間就業率を下げた一因でもあり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため公共施設等が閉鎖され就業が停止となった月があったことなどが月平均就業率を下げた要因と考えます。

配分金や事務費等を含む契約金額は3億8,559万円程で、令和元年度と比較して約13.5%、6,000万円ほどの減額となり、平成29年度以降三年連続の減少となりました。

会員の高齢化が進む中で、会員の健康づくりは重要となっています。さらに昨今の新型コロナウイルス感染症対策では「巣ごもり」と言われる活動の自粛や縮小を余儀なくされ益々健康維持が課題となってきています。そのような中、株式会社カーブスジャパンの協力により血管年齢測定や脂肪燃焼力・姿勢バランスなどの「からだの衰え度チェック」を会員向けに実施いたしました。さらに、東京都健康長寿医療センターの就業安全調査を実施し、今後一年間の転倒調査を実施するなど会員の健康づくりに取り組みました。

今後益々少子高齢化が進む中でシルバー人材センターが活力ある地域社会の担い手であり続けるため、会員増強はさらに強力に推進していく必要があります。併せて、更なる就業機会の確保を推進し生きがいのある生活の充実と地域社会への貢献に向け、会員の皆様と共に役職員一同一体となり推進して参ります。

以上、令和2年度事業の一端を申し上げ事業報告といたします。